

共生・公正・創造
共生の精神のもとに、心
とこころをつなぎ、次代
につながる公正な社会を
創ります。



JR東日本労働組合 東京地本

JR東日本労働組合
東京地方本部
東京都千代田区鍛冶町2-11-11
発行者・福田 高夫 編集者・依田 匡一
TEL(NTT)03-3251-2191 (JR)057-2292
FAX(NTT)03-3251-2192 (JR)057-2292

言葉は、福田副委員長が議長団選出まで務め、資格審査及び大会延期承認の報告があり大会が成り立したことを宣言した。議長には、石井代議員（上野車掌区）を選出し、以降の議事が進められた。議長から大会スローガン



案2013年度経過報告
及び2014年度運動方針について一括提案され
た、3号議案2013年度決算および会計監査報告を小宮執行委員により

す。第2回 J.R.東日本労働組合・東京地方本部定期大会にご参加の代議員、傍聴者の皆さん大変ご苦労様です。そしてお忙しい中ご参列をいたきました、民主党海江田代表をはじめ、連合東京・須永会長代理にもお越し下さいました、御来賓各位の皆さんに心から御礼申し上げます。アジアにおいては尖閣諸島をめぐる中国との対立、竹島の領土、従軍慰安婦問題の韓国や拉致問題をめぐる北朝鮮など反日の姿勢を強めていります。こうした中、安倍政権は憲法9条を改悪し、憲法9条のもと必要最小限の自衛権しか行使しないといふと、戦後日本の平和憲法を勝手に見直し、「集団的自衛権の行使」を强行

ですが、自民党安倍政権はあたかも成長戦略が成功し景気回復したかのような幻想を抱かせてきました。しかし、今でもフレ不況から抜け出た。たった一つだけです。



退任を前に最後の挨拶をする
東京地本中村委員長

評価していきます。しかし、異常な業務の委託化の拡大、効率化の推進など多くの問題も指摘しておかなくてはなりません。安全面では鉄道の安心を揺るがすような事故が発生しました。記憶に新しいと思いますが、2月23日午前1時11分川崎駅で京浜東北線の北行回送電車が停車中の工事用車両と衝突し脱線する事故が発生しました。幸い乗客は乗つていなかつたため大事故にはなりませんでしたが、幸運なことに使用者からは「命の重みがわかつていいな」など重大事故にはない厳しい批判があつたのです。鉄道を利用する多くの方も多くの意見を述べました。国土交通省事故調査委員会からも警告を発せられました。

は、なりません。来年は、統一地方選舉もあります。連合東京の推薦するすべての候補者の中から、皆さんと総力をあげ奮闘してまいります。最後になりましたが、私も今大会を最後に退任することとなりました。通算7年間という長きに亘つて努めさせていただきました。これまでに時間は過ぎてしまふにいたしました。これまで組合員の皆様をはじめ、退職者連絡会の大なるご協力に感謝し、この組織の発展と組合員のご健康と幸せを祈念いたしまして委員長としての最後の挨拶といたします。ありがとうございました。

8月23日港区田町交
通ビルに於いて、JR東
日本労働組合東京地方本
部の第二回定期大会を開
催しました。

A man in a white shirt is speaking at a podium. Behind him is a whiteboard with some handwritten text and the JR logo. The background shows a blue wall with the letters 'JR' and '日'.



議長に選出された
石井代議員

提起を受け監査報告の結果が室岡会計より報告された。

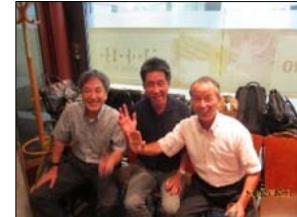
**組合員が主役の労働組合を
創造・発展させよう！**

第2回東京地方本部定期大会 開催する!

執行部答弁があり複書
記長が集約答弁を行い
(要旨別掲) 討論を終了
した。採決に天会スローガンから第5号議案まで
規約改正まで一括採決を
拍手で承認された。郷副委員長の閉会のあいさつ
の後、福田新執行委員長による団結ガンバローを
参加者全員で三唱し東京地方本部2014年度が



福田新執行委員長
団結ガンバロウ



スタートした。
大会終了後に、田町
「ニュートーキョウ」に
おいてレセプションを開
催した。郷書記長の司会
で始まり、今回退任する
中村前委員長から「今回
の大会をもつて最後とな
りました。皆さんのがんば
りました。皆さんの支え
で7年間、務めることができ
ました。感謝申し上げます」と挨拶がありま
した。

次に榎前書記長から
「今回で役委員を降りることになりました。何年

組合運動で汗流したこと
か記憶が走馬灯のように
思い出されます。地本を
離ますが、分会で世話
役活動を続けますのでよ
ろしくお願いします」と
挨拶があり、感謝の気持
ちが述べられました。

懇親会も大いに盛り上がり各テーブルで議論を交わす声が響きました。



権書記長 集約答弁

①3月に分会を結成し、月1回執行委員会を開催してきた。人事賃金制度の見直し以降職場の人間関係が悪化している。今後は他労組をも含めて職場を良くするために取り組んでいきたい。（中野電車区・伊藤）



発言要旨

②毎月執行委員会を開催し、職場の問題点を出し合いながら取り組んできた。田町センターではルール上出来ない作業が指令、助役の指示で行われている。また、東京派出では、指令から解放テコを扱うような指示が出された。安全教育がなされているのか危惧する。組織拡大にも取り組んでいく。（東京総合車セ・須貝）



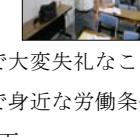
③業務委託職場、エルダー職場は労働条件が改善されていない。組合掲示板もない。改善について駅に言っても



会社が違うと言われる。駅はエルダーの募集に人が集まらないと聞く。改善努力をしてほしい。分会の再編について具体案があれば教えてほしい。（駒込駅・浜野）



④京浜東北線の基地再編について大混乱していると聞いているが、わが組合のこの問題に対する今後の取り組みを教えてほしい。（王子駅・西沢）



⑤組織統一を前に脱退者が出ていたのは残念。私も旧組織で大変失礼なことをしたが、先日ようやく謝罪できた。これからも職場で身近な労働条件改善をやっていく。地本に協力ををお願いしたい。また、下十条運転区は3月に廃止予定になっているが、会社は社員の不安に答えていない。地本でも取り組みをお願いしたい。（下十条運転区・渡辺）



○名の組織目標掲げていい
に取り組んで頂きたい。

5名の代議員から貴重な意見を頂いた。また、向こう一年間の運動方針に補強と課題を頂いた。

2月15日、大雪の影響が残るなか、統一結成大会を開催し、機関整備に至る過程で今後、未来に向けた歩みを進めるために過去の歴史や感情を乗り越えるべく、全組合員が議論を積み重ねてきました。現実を真摯に受け取った。誕生した「JR東日本労働組合」を全組合員の英知と行動で、さらに大きく、強くしなくてはならない。

私たちも安全を最重要

課題として取り組む。会

社側は、今年度から向こ

う5年間の「グループ

安全計画2018」を発表した。しかしその直後、

京浜東北線の川崎駅構内において軌陸車と同送電車が衝突し、脱線、横転する事故が起きた。また、神田一秋葉原での墜落事故が発生した。これらの事故は、あらためて私たち一人ひとりに鉄道事故の恐ろしさを実感した。安全はグループ会社・協力会社の社員を含めたすべての社員による英知と創造の賜物であることと創立ても、安全を担う

JR東日本の社員年齢構成を見れば、先輩社員が持つ高い技術や尊い経験を学ぶ機会が年々失われています。安全をつくり、担うのは「人」です。

逆に「人」視点や現場視

察による安全の確立に向

けた取り組みは、会社側ではなく、私たち労働組

合にしかできないと言え

る。今日まで積み重ねてきた「安全」をつくる過

程が形骸化しつつある今

にしかできないと言え

る。今日まで積み重ねてきた「安全」をつくる過

程が形骸化しつつある今

にしかできないと言え